

YWVOB 会 会報 No.78

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

2021 年 9 月 4 日発行

<http://ywvob.com/>



～ 78 号の目次 ～

- | | | | |
|---|---|----------------------|----|
| ・YWVOB 会長ご挨拶 | 1 | ・OB 会費納入のお願い | 11 |
| ・2022 年度 OB 総会案内 | 2 | ・訃報 | 11 |
| ・2021 年第 2 回役員会報告 | 3 | ・自由投稿①「21 期横溝君を偲んで」 | 13 |
| ・2021 年第 3 回役員会報告 | 4 | ・自由投稿②「葉山・森戸川源流沢歩き」 | 18 |
| ・旭日中綬章受章のお知らせ | 6 | ・OB 会報バックナンバー放出のお知らせ | 20 |
| ・第 61 回 OB 山行中止と
第 62 回 OB 山行案内（陣馬山） | 7 | ・現役部員の活動紹介 | 21 |
| ・苗名小屋便り | 8 | ・観天望記（編集委員会から） | 23 |

■ YWVOB 会長ご挨拶

会長 西田雅典（20 期）

会員の皆様、いつも OB 会活動へのご協力ありがとうございます。

コロナ感染者が世界で 2 億人を超え、デルタ株が新規感染の 9 割と伝えられています。早く、ワクチンが奏功し、ウィズコロナでの通常生活に戻りたいものです。

半世紀ぶりの東京五輪が 7/23(金)に開催されました。昭和 39 年東京五輪の記憶も OB 会の先輩・後輩間で濃淡があるかと思いますが、晴れやかで新しい時代を迎える気持ちになったのを記憶しています。今回は重苦しいムードではありますが、時差はなく TV 観戦主体の環境でもあり、色々な種目を効率的に TV 観戦されたのではないのでしょうか。

足元では OB 会活動は全体としてまだまだ低調ですが、山小屋行事や OB 山行は状況を睨みながらの実施、本会報の発行、メルマガ簡素化、HP の更新、小屋の今後の課題対応、現役とのコミュニケーションと支援などは引き続き進めています。来月は 2022 年度（21 年 10 月～22 年 9 月）OB 総会をオンラインにて予定しています。従来、常盤台キャンパスで OB 総会と同時開催していた横国 DAY (HCD) は 11 月にオンライン開催となるようです。OB 会はある意味、現在充電期間の感がありますが、OB 会活動にご興味のある方は役員会への参加を含めてぜひご検討ください。

今年は、またチベットと太平洋のダブル高気圧でお彼岸までは猛暑が続きそうです。感染症対策と併せてくれぐれもご自愛ください。

2022 年度 YWOB 総会招集ご通知

会長 西田雅典

日時：2021 年 10 月 23 日 (土) 14 時開始

開催方法：ビデオ会議システム Zoom による

議案：< 報告事項 > 監査報告、事業報告、決算報告、会員入退会

< 決議事項 > 2022 年度予算：概ね今年度並みを見込んでいます。

役員改選：2021 年度期初 52 人の役員のうち今回 11 人が改選 (任期 3 年) です。そのうち 10 人改選、退任 1 人。非改選で退任 4 人、新任の予定はなく、役員数は 47 人となる見込みです。

会則改正：表現の修正、運営整備のための改正を見込んでおり、重大な変更は予定していません。

今年の YWOB 総会は、現在のコロナ感染拡大状況に鑑み、ビデオ会議にて開催します。

昨年はビデオ会議と実開催のハイブリッドでの開催としましたが、コロナ感染拡大により医療崩壊も発生し、安全な実開催は困難になっています。ご了承のほどお願い申し上げます。

尚、OB 総会と同時開催していた横国 DAY は今年も実開催はなく、11 月にオンラインでの開催となる模様です。

ビデオ会議 (Zoom) 参加のご連絡を頂いた方には、メールでビデオ参加案内をお送りします。一方、ビデオ会議に対応できない方は、ご意見などありましたら、恐縮ですが下記要領にてご連絡いただければと存じます。

■ OB 総会参加手続き

① メールアドレスのある方

ご自身のメールアドレスが登録されているか下記の名簿閲覧システムで確認願います。

名簿閲覧システム URL : <https://ywmeibo.xii.jp/>

ユーザー名 : ywob、パスワード : m で始まる学生歌のタイトル



登録されていれば、そのメールアドレスに OB 総会参加および近況調査をメール配信しますので返信をお願いします。今回は Google Form という書式を使用しています。登録されていない方は、改めてメールアドレスの登録依頼を名簿担当、db@ywob.com までメールしていただくか、下記③での対応をお願いします。尚、名簿情報の変更を希望される方は、同様に名簿担当にて受け付けます。

② メールアドレス登録のない方

下記によりご連絡をお願いします。効率化のため今回からハガキの同封は廃止します。大変お手数ですが、ご自身でハガキを準備いただき、下記内容を記載の上、名簿担当まで郵送をお願いいたします。

《記載内容》

(1) 期 (第〇期)

(2) 氏名

(3) OB 総会への出欠について：出席する・欠席する

※今年の総会はビデオ会議のみでの開催となりますので、出席される場合にはメールアドレスの登録が必要になります。

(4) (上記 OB 総会欠席の方のみ) 総会での議決権について：委任する・委任しない

(5) 下記名簿の変更情報、追加情報などありましたら記載ください。

・郵便番号、住所

・電話番号、携帯番号

- ・メールアドレス（アドレスをお持ちの方は是非ともご記入をお願いいたします）
- ・勤務先・所属
- ・近況、ご意見その他

《宛て先》〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-31-20 清水ビル 5F 古川圭一宛（名簿担当）

③スマホ等からの手続きについて

参加手続き及び近況調査は、右のQRコードをスマホ等で読み込んでGoogle Formにて回答することもできますので、ご利用ください。



■ 2021年 第2回役員会報告

幹事長 白木政隆（21期）

2021年4月24日（土）14:00 から、オンライン会議にて、2021年第2回役員会が開催された。

【出席】オンライン（Zoom）にて役員会参加

嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、安藤(11)、山川(12)、榎本(12)、竹村(13)、白須(17)、木村(17)、小浜(17)、山口(18)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、武藤(20)、安武(20)、白木(21)、早川(24)、古川(25)、柏木(25)、楠本(28)、松本(29)、親跡(34)

<現役 中山(63)、島(63)、水内(63)>

計 27 人

【議事内容】

1. 会長挨拶

- ・池野総務委員長の退会について、背景・経緯を説明する。
- ・本業が多忙になる中、OB会での活動内容が委員長就任後急激に増える状況になったことに加えて、作業軽減策の協議やフォローについて、上下関係を越えて信頼関係を醸成するコミュニケーションが不足していたことが主要因と考える。今後OB会の業務負担を抑え、簡素化を推進していく。

2. 審議事項並びに重要検討事項

①【会長】新しいOB会の体制について⇒原案承認

- ・当面の間、西田会長が総務委員長を代行して、業務内容の確認・委員役割の再検討を推進する。
- ・メルマガ配信等の池野前総務委員長が担当していた業務については、役員会内での横断的なフォローも含め検討する。
- ・MLやZoomのツールを更に活用して、OB会内コミュニケーションのより一層の充実を図る。
- ・他の委員会についても、より効率化した方が良いと思われる業務について、今後議論をしていく。

②【総務委員会】OB小屋委員会ML運営方法について⇒継続審議

- ・OB小屋委員会のメンバーのみのMLについては既に新設している。
- ・OB会会員以外のメンバーも含まれるもう一つのMLは、榎本委員長より確認メールを発信中であり、今後何回かの連絡・整理を踏まえて、今後の扱いを最終答申する。

③【現役】現役報告・現役支援策について⇒現役支援策については継続審議

- ・4月より大学の正式な野外活動として、基本的なエリアを県内中心にして公式活動を再開している。
- ・2/13 大山山行については7名参加して、その後2名が入部を決定した。
- ・3/20 追いコンはZoomにて実施した。
- ・4/3 笹子雁ヶ腹摺山(7名参加)、4/17 大山新歓(15名参加)、その後更に3名が入部を決定した。
- ・4/25 陣馬山(28名参加予定)、登山用具の買い出し会を3回予定するが、部員の定着率が課題と考える。
- ・今後の予定…5月新錬①②丹沢山・伊豆三原山、6月新錬③乾徳山、④瑞牆・金峰山、7月新錬⑤八ヶ岳、PWを予定する。8-9月は小屋+妙高・火打山、北岳・間ノ岳山行等を検討している。
- ・コロナ禍の中、大学との課外活動許可の条件を確認しており、部として保有していない登山用具等が必要になった場合は支援依頼をさせていただきたい(ex 密を避けるための少人数テント等)。

④【OB小屋委員会】小屋の今後の課題整理・方向性検討⇒継続審議

- ・苗名小屋の今後の方向性について、プロジェクトチームを立ち上げ、横断的に内容を整理・検討する。
- ・プロジェクトチームのメンバーや目指すゴール等については素案を出して役員会と並行して進めていく。

⑤【HP委員会】OB会サイトでの新プログラム活用提案について⇒継続審議

- ・コロナ禍でもコミュニケーション不足を補うことも含めて、内容を充実させていきたい。
- ・WordPressをベースとしたテーマ、プラグインを検討中であり、9月遅くとも年末までには公開できるようにしたい。

3. 報告事項(審議事項並びに重要検討事項に事前起案されていなく、かつ決議を伴わない事項)

- ①【総務委員会】総務委員会内での仕事の配分の見直しを図りたい。
- ②【編集委員会】次回の会報は9月発行なので、会報発行案は次回役員会で付議を予定している。
- ③【OB山行委員会】5/22OB山行は現在の状況に変化がなければ、実施予定で考えている。
- ④【OB小屋委員会】スケジュールは5月メルマガにて内容発信を予定している。
- ⑤【部史編纂委員会】山行記録の個人情報掲載部分について非表示にして9月中にアップしていく。
- ⑥【HP委員会】審議事項があったため、特に無し。
- ⑦【委員会以外】特に無し。

4. 次回役員会 2021年7月10日(土)14時~16時半(状況に変化なければZoomにて実施予定)。

■ 2021年 第3回役員会報告

幹事長 白木政隆(21期)

2021年7月10日(土)14:00から、オンライン会議にて、2021年第3回役員会が開催された。

【出席】オンライン(Zoom)にて役員会参加

嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、安藤(11)、山川(12)、榎本(12)、竹村(13)、白須(17)、木村(17)、小浜(17)、山口(18)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、武藤(20)、安武(20)、白木(21)、吉田(23)、早川(24)、古川(25)、柏木(25)、毛塚(26)、楠本(28)、松本(29)、親跡(34)、石川(41)
<会員>森嶋(23) <YVVV部長>河端先生
<現役>中山(63)、島(63)、金(63)、樋端(63)、水内(63)、西川(64)、前田(64)、細川(64)、沖田(64)、吉野(64)、中村(64)、松田(64)、佐藤(64)、山本(64)、木曾(64)、馬場(65)、戸上(65)、栗田(65)、青木(65)、林(65)、堀(65) 計50人

【議事内容】

1. 河端先生挨拶

- ・日頃より現役を支援していただき感謝する。部活動で現役とOBがこれだけ交流をしている会は非常に稀だと思う。今年は対面授業も拡大しており、学生がキャンパスに来る機会が増える中、新しい部員も増え活動が活発になっている。現役学生が山行をしたい気持ちはより高まっていると思う。

2. 会長挨拶

- ・コロナ禍も徐々に好転に向かうと思う。今後もより活発な活動を進めていき、OB山行や小屋を中心とする各種イベントや役員会リアル開催の復活を実現したい。その為にも本日も活発な討議をしていきたい。

3. 審議事項並びに重要検討事項

①【副会長】会則案変更について⇒一部継続審議

- ・期別幹事選定の記述については、内規に留めることも含め再度文言を見直し再審議する。
- ・部史編纂委員会が現役山行記録を入手・加工することについて、何らかの合意文書を交わす。
- ・部史編纂委員会のデータ管理範囲についてはHP委員会とも協議して、その範囲を明確にする。

- ・他の変更案については承認される。
- ②【総務委員会】総会について⇒一部継続審議
 - ・横国 Day は 11 月にオンラインで実施する方向性で進んでいる。OB 会の対応は今後検討する。
 - ・総会については横国 Day に合わせるのは困難であり、10/23（土）で昨年と同様リアル会議とオンライン会議にて実施することを基本的な考え方とする→承認
- ③【総務委員会】総務業務簡素化について⇒一部継続審議
 - ・総会出席確認方法としてのハガキ送付は廃止する。代替案をメルマガ・会報で告知する→承認
 - ・現在 Google フォームとメールの二本立ての出欠連絡方法を検討中→承認
 - ・文書管理については会則では総務委員会で一括管理することになっており収集継続する→承認
 - ・メルマガ配信についてはイベントに合わせて定期便と臨時便に変更する。小屋活動等一部スケジュールが合わないものは WEB サイトと連携して対応する。→承認
 - ・メルマガ原稿作成については OB 会 WEB サイト内での編集をするためのプロトタイプを作成して、より効率的なメルマガ作成を推進する→プロトタイプを各委員長が確認後運用方法を再審議。
- ④【現役】現役報告について
 - ・新歓 4/17 大山(14 名)、4/25 陣馬山(37 名)→最終的な入部者 64 期(2 年)16 名、65 期(1 年)12 名
 - ・Twitter による公式&新歓アカウントでの認知をして、かつ山行への関心が高い新入部員が多い。
 - ・新錬①5/4 丹沢山(20 名)、5/9 丹沢山(16 名)、新錬②5/22 檜洞丸(26 名)、新錬③6/12 乾徳山(19 名) 6/20 乾徳山(9 名)、学生支援課に了解を取って山行実施。
 - ・今後の予定…7/10-11 個人ベースで小屋入り、7/11、17 明神ヶ岳、7/22-23 八ヶ岳、8/16-18 北岳・間ノ岳、8/29-31 夏合宿（場所は投票にて決定）を検討している。
- ⑤【全員】現役支援策について⇒継続審議
 - ・事前に現役から依頼のあった、コロナ禍での収容定員を減らして山行する為のテントの購入については、現状では学生支援課から宿泊山行の許可は出ておらず、今後中山主将、河端先生と学生支援課の間で宿泊を伴う山行実施可能条件を確認した上で、支援内容を再検討する→承認
- ⑥【全員】苗名小屋の登記・保険加入等の進め方について⇒継続審議
 - ・行政が苗名小屋を認知してくれるか事前段階の専門的な意見を得るために、まず OB 会内での衆知を集めたうえで役員会としての方向性を決めて、次のアクションプランを検討する→承認
 - ・当面は会長が OB 会内でのヒアリングを実施することを決定→継続審議
- ⑦【編集委員会】会報 78 号原案について⇒承認
 - ・8/6 原稿締切、8/22 入稿、9/4 発行・発送→日程・内容含め承認
- ⑧【HP 委員会】新 WEB サイトの作成状況の報告⇒継続審議
 - ・サイトの基本的なテーマを「LUXERITAS」にすることを検討中
 - ・総会までに全体のレイアウト、必要なページ、機能についてまとめるべく検討中

4. 報告事項

- ・【総務委員会】今回メルマガは 7 月末に送付を予定する。
- ・【その他委員会】特になし

5. 次回役員会に向けて

- ・【会長】次回役員会で役員改選時期の役員について各委員長は各委員に確認をお願いする。

6. 次回役員会 2021 年 9 月 25 日（土）14 時～16 時半（状況に変化なければ Zoom にて実施予定）。

■ 旭日中綬章受章のお知らせ

早坂 宗（8期）

畑中誠君の「旭日中綬章」受章を祝う

この春、コロナ禍の逼塞生活の中、ビッグで嬉しい報せがあった。何と同期の畑中誠君が「旭日中綬章」を受章したのだ。ワングルとゼミでともに活動した親しい仲間の快挙である。早速駆けつけお祝いしたかったが、この時期はそれも叶わず、電話で心を通わせながら祝杯を挙げた。

彼は高校時代から登山に勤しみ、ワングルでもいち早くリーダーを務めた。後立山連峰縦走（白神リーダー、針ノ木峠へ下村先輩とともにサポート歩荷）、南八ヶ岳縦走（白神リーダー）、畑中リーダーの八海山（屏風道は険路だった）、冬の天狗岳（白神リーダー）や仙丈岳（畑中リーダー、連日の吹雪で登れず酒ばかり飲んだ）等数えきれないほどの思い出があるが、3年生の畑中リーダーの下16日間に及ぶ「南アルプス大縦走（光岳～甲斐駒ヶ岳）」がとりわけ印象深い。でもこの時彼は三伏峠で「母が倒れ入院した」との急報を受け、北岳・八本歯の科尔から下山した。彼の実家は浅草の酒屋で、切り盛りしていたお袋さんが倒れたため、長男の彼は店を手助けするため留年を決断した。復学した時、8期は既に卒業していて9期の仲間とともに活動を続け、面倒見の良い彼は多くの後輩たちから何かと頼られ慕われた。後に酒屋は弟さんが継いだ。

1969年4月東京建物（株）に入社。国大出身者としては初めての採用だったそうだ。入社8年目の頃、海老名市の大規模マンションの開発を担当し、そこで懇意になった市役所の課長と丹沢の「新大日茶屋」をベースに彼方此方歩き回ったと聞いた。小屋番の手伝いまでしたらしい。

学生時代からつるんでいた飯村君、小出君、畑中君とは卒業後も家族ぐるみの付き合いを続けている。もう20年前になるが、4夫婦で福島の子岐山に登りに行った時、羽鳥湖の傍を通ったが、この「羽鳥高原レジーナの森（別荘地、テニスコートが有名）」は畑中君が長年携わって開発したという当時の苦労話を聞いた。後日談がある。東日本大震災直後、このレジーナの森施設は、断水した村への飲料水提供、温浴施設の無償利用、住民避難場所への開放など地元住民に大いなる貢献をしたのである。勿論、既に社長5年目になっていた畑中君の肝いりだったことはいうまでもない。4夫婦の山旅は荒船山や北八・横岳と続いたが、残念ながら飯村君は2003年12月に他界した。

畑中君の社長就任は2006年だが、この時も私は大いに喜び祝杯を挙げた。東京建物（株）の社長は富士銀行・重役の天下りが続いていたが、南社長（富士銀行元副頭取）から畑中君の顕著な実績が認められ、待望のプロパー社長が誕生したからだ。社員皆は諸手を挙げて喜び勇み立ったに違いない。

社長・会長としての在任期間は10年に亘るが、この間経営トップとして東京建物（株）を担うことになった畑中社長は、その強いリーダーシップと社員の熱き信頼をバックに、不動産リート事業の推進を始め次々と先をみすえた新機軸を打ち出し今日の発展に繋げた。その功績は大きい。社長在任3年目の時、右足に強い支障が出て「黄色靭帯骨化症」の手術を受けた。術後も長く脚の痺れが残って「社員に苦労と迷惑をかけている」と気遣っていたが、そんな体で株主総会議長を始め激務の社長業を務め続け全うした畑中君自身が一番辛かったはずだ。

彼は同社をしっかりと成長軌道に乗せたばかりでなく、業界の「不動産協会」副理事長や「日本ビルヂング協会連合会」副会長等の要職を長く務めた貢献も今日の受章に繋がったものと思う。

官職の受章は珍しくはないが、民間人としての「旭日中綬章」受章は価値があり、同期として大いに誇りに思う。改めて声を大にして祝いたい。「畑中君、おめでとう！これからも元気でいてください！」。

コロナ明けの「同期会」でまた皆でお会いしましょう。



2013. 10. 7 苗名小屋にて 8期同期会

■ 第 61 回OB山行中止と第 62 回OB山行案内（陣馬山）

OB山行委員長 山口貢三（18期）

第 61 回OB山行は県境を跨ぐ移動の自粛要請を受けて、中止させていただきました。

今後も行動指針に沿った実施可否の判断を前提として、第62回OB山行は陣馬山の再度ご案内となります。山頂にはいくつかの茶店があり、天気が良ければ富士山を眺めながら食事もできます。その後は、3班に分かれAコースでは景信山までの長い縦走を楽しみ、Bコースは一ノ尾尾根を下ります。Cコースは最短で下山できます。初めての方も大歓迎です。皆さんの参加をお待ちしています。

【日 時】 2021年10月16日（土）

【行き先】 陣馬山（855m）

【集 合】 A、Bコース 中央線 藤野駅 9：00集合 バス（和田行き）9：15～20発（増発）
Cコース 中央線 藤野駅 8：35集合 バス（和田行き）9：15発（先発）

注意）駅前の混雑緩和のため、集合時間が異なります。

Cコースの方は先発のバスに乗車するため、到着次第、バス停に並んでください。

【コース】

Aコース 体力度 ★★（ 歩行時間 約4時間15分 総距離 11.4km ）
累計標高差 上り770m 下り922m

和田(09:40)・・・車道出合(9:55)・・・分岐(10:40)・・・陣馬山(11:20)[休憩 40分]・・・
奈良子峠(12:20)[休憩 5分]・・・明王峠(12:35)・・・底沢峠(12:55)・・・堂所山(13:15)・・・
景信山(14:20)[休憩 20分]・・・景信山登山口(15:15)・・・小仏(15:30)バス 15:40=16:01 高尾駅

Bコース 体力度 ★☆（ 歩行時間 約3時間00分 総距離 7.6km ）
累計標高差 上り632m 下り784m

和田(09:40)・・・車道出合(09:55)・・・分岐(10:40)・・・陣馬山(11:20)[休憩 40分]・・・
一ノ尾尾根・・・分岐(12:40)[休憩 10分]・・・陣馬登山口(13:30)13:49=バス=14：00 藤野駅

Cコース 体力度 ★（ 歩行時間 約2時間30分 総距離 5.3km ）
累計標高差 上り569m 下り569m

和田(09:30)・・・分岐(10:00)[休憩 10分]・・・分岐(10:45)[休憩 10分]・・・陣馬山(11:20)[休憩
50分]・・・分岐(12:30)[休憩 10分]・・・車道出合(13:05)・・・和田(13:20)13:42=バス=14：00
藤野駅

【費 用】参加費 500円（会員家族100円、ただし小学生以下無料）交通費 各自負担

【持ち物】雨具、昼食等 日帰りハイキング用具

【申し込み先】希望のコースを10月9日までにOB山行委員会にメールでご連絡ください。

メール：sanko-ywvob@ywvob.com



■ 苗名小屋便り

OB小屋委員長 榎本吉夫（12期）

コロナの終息が全く見えない現在(2021年7月)、今年の小屋活動は限定メンバーでの最小限の小屋維持に終始しました。昨年同様に現役の小屋活動は、大学の方針により全く実施できず、寂しい限りです。

3月の雪下しから7月までの報告をいたします。3月12日(金)～15日(月)に、11期安藤さん、14期小口さん、榎本の3人で第3回雪下ろしを実施しましたが、屋根雪はてっぺんの冠雪だけで作業は不要でした。安藤さん同乗で榎本車は、12日早朝発で、13時過ぎに杉ノ原スキー場駐車場に着き、14時過ぎに小口さんと合流して15時半に小屋入りしました。天気は曇り、予報では明日土曜から日曜は雨模様で、晴れは月曜からでした。残っている冠雪は、ひび割れが入って縮み北側に歪んでいましたが、形はしっかり保っていて今回も帰りまで微動だにしませんでした。多分12月からのストーブ作戦で下面は溶けても、また凍ることを繰り返して四角錐の氷板となって安定しているのだと思います。翌13日は予報通り朝から小雨でしたが、9時頃まで様子を見て降ったり止んだり状態だったので、笹ヶ峰までのスキーハイクに出発しました。途中みぞれ交じりの雨でしたが、降りには強くなく風も無かったので、3時間程で京大ヒュッテに着きました。誰もいませんでしたが、ベランダ側の軒を借りて昼食をして、小屋への戻りにつきました。往きの登りはシールを使いましたが、帰りの登りは、雪が雨でガラメ状態になり滑らずシール無しで行けました。ただ、帰りの下りも全くスキーは滑らなかったです！

14時過ぎに小屋に帰着。14日日曜は天気予報より早く進み、朝から快晴でした。朝下山する小口さんと一緒に8時過ぎにスキー場駐車場に向かいました。安藤さんと榎本は、34期笹倉さんから譲ってもらった格安一日券で、14時過ぎまで久しぶりのグレンデスキーを楽しみ、小屋に戻りました。

翌15日月曜は10時過ぎに下山、豊野のりんごの湯経由で帰路に着きました。今シーズンは当初かなりの降雪があり、今年は大雪になるかな？との予想でしたが、1月後半からは降雪も少なく、結果的には最近の平均値を下回る積雪でした。コロナ禍、OB各位のご協力ありがとうございました。



3月12日第3回雪下ろし時



造林小屋



間伐した小屋近くの林道からの斑尾山と野尻



3月、笹ヶ峰へ！安藤さん小口さ



雨で軒を借りた京大ヒュ



3月 しっかり残る冠雪



快晴のスキー場からの妙高山・外輪



連絡リフトから妙高山・外輪山



5月連休の山小屋

東京が3回目の緊急事態宣言、3県がまん延防止、現役も5月連休小屋入りは大学の許可が出ませんでした。他県移動自粛が出ていますので、小屋入りが憚れる状況でしたが、小屋開け、井戸水道開通、新ガスコンロ搬入のため14期小口さんと榎本が、5月3日(月)~5日(水)(小口さんは4日まで)小屋入りしました(なお、小口さんは4月28日(水)に偵察で小屋入りしました)。食糧調達は、長野在の小口さんをお願いして、榎本は小屋直行としました。榎本車は1人でしたので3日午前発、富士五湖経由、途中渋滞で甲府南から高速に乗りましたが、小屋着は19時近くになりました。翌4日は、底板がさびて抜けてしまった古いガステーブルを新しいものに置き換え、エンジンポンプを使わないで20Lのポリタンと脚立、ストッパー付きの水栓でサイホン井戸水道の開通を試み、うまく行きました。雪囲いを外して夏仕様にし、井戸水位が高かったため、小口さんは下山しましたが、10数年ぶりにドラム缶風呂に挑戦しました。ちょっとぬるめでしたが開放的？な風呂が楽しめました。翌5日午前中に小屋を後にしました。



エンジンポンプを使わない井戸サイホン水道開通ツール



タラの芽10株、育成エリア！



新品のガステーブル



久しぶりドラム缶風呂、井戸水がたっぷり（水深2m）無いときは禁止（笑）です！

6月5日（土）～7日（月）に11期安藤さん、13期竹村さん、小口さん（4日夕方～5日夕方）、榎本が小屋入りし、安藤さんの長野在のご友人が5日夕方から6日までご一緒しました。榎本車の3名は4日夜発、途中深夜営業の須坂西友で食糧調達して5日未明に小屋入りしました。5日は、筍採り、草刈り、駐車場林道入り口の鎖支柱の設置、遊歩道の枝切りを実施しました。6日は安藤さんのご友人の案内で、戸隠の探鳥散策路へ、鏡池を巡る静かなルートでした。7日は草刈り、後片付けし昼過ぎに下山しました。

6月30日（水）、7月1日（木）に、29期松本さんが、コロナ疲れを癒し？に小屋入りし、小屋備品購入、草刈りを行いました。また、7月10日（土）、11日（日）には現役の4名が、ついに耐え切れず？、プライベート！で小屋入りしました。7月17日（土）～19日（月）にワクチン接種が終了（1名は2回目が翌週でしたが）した4人、安藤さん、竹村さん、小口さん、榎本（急用で18日午前下山）が榎本車で3名、16日夜発で深夜着、17日夕方に小口さんが小屋入りしました。17日は草刈りに終始し、翌18日早朝に火打山登山に向かいました。コロナ禍ですが笹ヶ峰駐車場は早朝から満車でした。榎本は富士見平手前で下山、昼前に小屋を後にしましたが、竹村さんは天狗の庭まで、安藤さん、小口さんは昼前に火打山頂に到着、下山後小屋で恒例のバーベキューを楽しみました。オリンピック開催で、また首都圏は最悪な状況になりつつありますが、ワクチン接種が進むことで秋には、悩まないで自由な小屋入りが可能になることを願っています。



6月、安藤さん友人、安藤さん、竹村さん



7月天狗の庭で火打山背景に安藤さん、小口さ

下記にいつもと同様な小屋締めまでの予定を記します。小屋はOB各位が利用できる状況は維持しておりますので、小屋入りはOB各位の自己判断にお任せいたします。なお、小屋入りする時は下記の小屋メールアドレスへ連絡をお願いいたします。

8月お盆週間（11日（水）～15日（日）、個別日程）小屋整備他

（9月18日（土）～20日（月） 個別日程）

10月9日（土）～11日（月）キノコ採り他

11月6日（土）、7日（日）小屋閉め

小屋メールアドレス：koya-mail@ywvob.com

OB会費納入のお願い

会計幹事 吉野大次郎（2期）

会計幹事 松本 和之（29期）

OB会報第78号に同封の払込取扱票は、2022年度（2021年10月～2022年9月）OB会費等をお振り込みいただく用紙です。ゆうちょ銀行の各店舗窓口・ATMからお振り込みください。

年会費 : 2,000円（2022年度の年会費）
前納会費 : 10,000円（6年分（2022年度～2027年度）の年会費に充当）
寄付金 : （一般、小屋）のどちらかを○で囲んでください

2022年度年会費納入済みの方は次ページの通りです。同封の払込取扱票は寄付金のお振込みにご使用ください。

払込手数料は5万円未満の場合、窓口203円、ATM152円です。払込取扱票を紛失した場合は、ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票に、下記口座番号と加入者名を記入の上お振り込みください。

口座番号 : 00290-3-2419
加入者名 : 横浜国立大学ワンダーフォーゲルOB会

★他の金融機関からのお振り込み

他の金融機関からお振り込みいただけます。その場合、預金種目、口座番号は下記のようになります。手数料は各金融機関、振り込み方式によって異なりますが、3万円未満の場合は220～660円です。

銀行名 : ゆうちょ銀行（9900）
店番 : 029
店名 : ○二九店（ゼロニキュウ店）
預金種目 : 当座
口座番号 : 0002419
カナ氏名 : ヨコハマコクリツダイガクワンダーフォーゲルオーヒ

訃報

編集委員長 石垣秀敏（20期）

・横溝真司氏（21期）が2021年4月19日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2022年度 年会費納入済み会員リスト

期	会員名 (敬称略)
1	嘉納、佐藤、吉田、藤岡、堀内
2	吉野、斎藤、多田、宮本
3	吉村、金田、腰塚、平林、芹沢、塩谷、井田
4	永田 (明)、横山、高田、原、谷
5	谷合、金子、矢島、中村、亀井、三宅
6	密島、岡田 (光)、岡田 (美)、永井
7	服部、井上、山田、松本、橋本、今井、久保木、坪、鈴木、小林 (桂)、古宮
8	平沼、畑中、小出、早坂 (宗)、須藤、上島、佐木、田中、武藤、早坂 (富)、綾部
9	鈴木、眞壁
10	武重、鈴木、下村
11	丹羽、安藤、大森、榊原
12	山川、榎本、左藤、武者、野口
13	赤松、竹村、太田
14	鈴木、高木、狩野、上野、水本
15	牛窪、安藤、赤松、岩船、萩生田
16	大場、岩船、岩田、中野、三好、佐藤
17	石川、市野、梅野、葛窪、小浜、白須、蛭川、渡邊
18	植草 (慶)、植草 (美)、勝山、塩川、伊達、壺井、堀内、山口 (幸)、山口 (貢)、渡部
19	石井 (忍)、石井 (啓)、磯尾、海野、小松、中島、林、笛木、南
20	青山、石垣、加賀、作山、玉木、西田、古橋 (達)、増田、武藤、安武
21	河辺、坂元、白木、溝畑、村石、村松、山崎
22	立浪、谷内、津江 (眞)、津江 (裕)、西田 (晶)、山本、舟本
23	伊藤、大津山、中戸、根岸、森嶋、吉田 (豊)
24	大津、鴨志田、北澤、田澤、成田、八木、山辺
25	柏木、高野、高木、永田、古川、毛利
26	大村、坂田、毛塚
28	梅田、大庭、楠本、松本、和井田
29	中嶋
30	下出、竹澤、服部、福田
31	伊藤
34	小野、田村
35	富澤、土方
36	辻
37	佐々
38	細谷
41	笠原
44	小林
45	佐久間
56	古矢
57	百合野

21期 横溝君を偲んで 一天に一足先に出陣した殿へー

21期の「殿」こと、横溝真司君が、本年4月19日に天に召された。

37歳の時に脳出血に倒れ、大変な不自由があったと思うが、いつも前を向いて、明るく穏やかに皆に接し、OB会の活動にも積極的に参加していた横溝君、改めて感謝の気持ちと敬意を表したい。

6月12日、特に親交のあった方と21期の同期の仲間が、みなとみらいが一望できる横浜の高台にある久保山墓地に墓参りをしました。横溝君の妹さんがお越しく下さり、コロナ禍で短時間の面談を予定していましたが、結局最後までずっと一緒にいて下さり、皆でゆっくり話をして横溝君を偲ぶことができました。風もない好天の下、「色々兄らしいエピソードが聞けました」と妹さんも喜んでくださり、これもすべて殿の采配なのでしょう。

毎年常盤祭では「みはるかす」を歌い、横溝君宅近くのちゃんこ屋さんでの同期会が恒例でしたが、昨年来コロナ禍でままならぬまま逝ってしまったことが心残りです。でも、いつまでも君のことは忘れず、また皆で集まる日を心待ちにしています。 合掌

村松俊明

横溝真司君を偲んで山に登ることにした。生憎のコロナ禍で彼と登った山には行けず、単身赴任先の大分の久住山にいろいろと思い出しながら登った。彼は議論好きで、ある日部室で酔って議論していたら、経緯は忘れたが俺を殴れと彼が言った。じゃあ殴るぞと殴ったら曰く、グーで殴るとは思わなかったのにお前はグーで殴った。卒業後呑んでその話になると、いつもあの頃の部室に戻った。

彼は働き盛りで脳出血に倒れ不自由な身体となったが、きっとまた皆と山に登りたかったことだろう。どうか自由な身体に戻って好きな山を登って欲しい。

ご冥福をお祈りいたします。

鳥井正志

青い空、白い入道雲。夏が来たと思った。

コロナ禍の夏、今年は何も予定がない。でもこの梅雨明けのわくわく感。夏休み、夏合宿一と記憶を遡る。横溝君が逝った。山あり谷ありの人生を彼独自のペースで生ききったと思う。思い出せば、私の青春の一コマに彼が笑い、話し声が聞こえてくる。

あの頃の都内の空気は最悪だった。大気汚染。空気を入れ替えようと窓を開けると排気ガスのような匂いがして、すぐに閉めた。私が大学入学後、ワングルの戸を叩いたのは、そんな都会生活の中で何か無意識に自然なるものを求めていたことも一因のような気がする。同じ高校出身の彼と私は、運動が得意でもなく、どちらかといえば不器用ということでは共通していたと思う。その彼が何故ワングルを選んだかと聞かれた時、ふとそんなことが思い浮かんだ。

雲の上の世界のOB会も賑やかになりつつある。

以前より死が身近に感じられる昨今、そう思うとちょっと安心できる私がいる。

河辺（山中）直子

横溝君が突然逝ってしまった。

一緒に苗名小屋に行ってから45年弱。私が諸々の事情で2年で退部してからも、皆と交流はあったが、彼は大学を卒業してからもワングルOB会入会を熱心に勧めてくれた。今OB会に自分がいるのは本当に彼のおかげである。その恩返しも込めて、「体重が60kg以下になったらエバニューの背負子で苗名小屋まで連れていく」と言っていた約束は果たせなかった。

横溝君にまた会う時に向けて、彼が経験済で自分が未経験のルートに行ってみようかと考えている。巻機や道志は行けそうだが、十勝ルートはキツイかもだ。記憶力「だけ」は異常によかった彼と、あっちで会っても日本酒を飲みながら、山や時代小説の話をしたいと思う。 合掌

白木政隆

横溝真司君の訃報に接し、謹んでご冥福をお祈りいたします。ワングル同期の中でも横溝君と私は体力のない部類で、入部当初はよくバテた！でも辞めずにお互い頑張った！一番思い出深いのは、3年生の夏合宿で登った大雪山系かなあ。現役最後、というのもあるし、憧れの北海道、というのもあった。同じ隊で行動して、楽しかったあ～！旭川での打上げも、盛り上がった！

最後に会ったのは2019年年末(21期の新年会下見)と2020年年始(横溝邸での新年会)。特に2019年年末の下見は横溝君とさし飲みで盛り上がった。またさし飲みしような、とメール交換したが、残念ながら実現しなかった。楽しい思い出をありがとう！ 合掌

藤倉大介

－早春の鈴鹿で－

横溝君と合宿やPWで一緒に隊になったのは、2年の終わりの春合宿でした。

早春の鈴鹿山脈縦走は、「横溝君が発熱」という笑えないエイプリルフールのいたずらから始まりました。もうすぐ2年生になる1年生3名は、横溝先輩の一大事と仰天し、心配しながら自前の新しいタオルを水で濡らしにすぐにテントの外へ出て行ってしまいました。嘘だよーと言うタイミングを完全に逸してしまった我々上級生3名は、少々うろたえながら1年生が戻るのを待っていました。

いつもはニコニコ(ニマニマ?)している横溝君でしたが、その時の「やばいな」という顔と、嘘と知って怒った1年生に心底詫びている顔は、在学中に見た一番真剣な顔でした。

その後の隊の仲は、横溝君の人柄で収まったのですが、翌日からの大雨は収まらず、全身ずぶぬれの藪漕ぎでみんなへたばりました。それでも最終日、山の中の廃村跡に黄色い福寿草が点在しているのを目にしたときは、それまでの疲れが吹き飛ぶようでした。

横溝リーダー、いろいろあった春合宿だったけれど、本当にお疲れさまでした。今でも「鈴鹿」と聞くと、あの時の横溝君と福寿草が想い浮かびます。たくさんの思い出ありがとう。

長尾(山室)晴美

山に行き休憩時に美味しそうにポリタンの水を飲む姿。

宴会の時、日本酒を旨そうな表情で飲む姿等、笑っていた顔、楽しそうな姿が今も思い出されます。山では大量の汗をかき美味しい水を沢山飲み、下山後は美味しい水の代わりに酒だった、あの頃の学生時代を懐かしく思い出します。

俺は東京から横浜に“都落ち”してきたとか、もとは旗本で「世が世であれば」お前たちは話も出来ないお殿様で有るとか・他愛のない話を何度聞いた事か?「殿」らしく歴史好きで茶目っ気の有る話や、自分の記憶にものを言わせ先輩等の過去の話をお前は「あの時こう言った」等、真剣に話し少し諸先輩方を困らせたりして面白い事がよくありましたね。

元気である事が当たり前であると思っていました。そこに居てくれるだけで安心を与える人柄でした。君に会えて良かった。あまり運動が得意そうではなかったのに、何でワングルに入部したのか?聞きそびれ今でも謎です。今度会う時は、先輩としてそちらの作法を得意げに指導してくれる事だと思います。

また会うその時まで、今はさようなら。

山崎俊夫

－夏の苗名小屋－

在学中には海で山田君が、卒業後には山で中川君が亡くなっている。その数年後には、まだ37歳の横溝君が脳内出血で倒れてしまった。

病院へ見舞った時に彼から聞いた話であるが、まだ手の感覚が戻らない頃に「第三の手」の感覚があったというのだ。その手で「色々なもの」にさわることができて面白かった、と意味深なことをのんきに語っていた。退院後も身体に麻痺が残り大変な苦勞をしたと思う。

最後に会ったのは2020年の正月、彼の自宅で新年会を開いたときである。退職していた私は一緒に夏の苗名小屋へ行くことを提案したが、結局、行きがたい状況になってしまう。実現できなくて残念だった。思い切って行っておけば良かったと後悔している。

溝畑晃道

山登りなど慣れていない新人の頃、喉が渇いたり足が痛くなったり、それを素直に表現するヨコミゾクンが忘れられません(根性無しめ!)。けれども、素晴らしい景色に出会った時も同様の素直さで目を輝かせて喜び、私が困った様子をしていれば大丈夫か?と心配してくれる(それで何をしてくれるという訳でもありませんでした) 大事な仲間でした。ちゃんこ屋さんで、また会えると思っていたのに。

寂しいけれど、ヨコミゾクンの声は頭の中で再生できる気がします。
心から、ご冥福をお祈りいたします。

坂元(渡部) 朋子

横溝君の訃報を知ったのは突然で、ビックリするとともに残念でした。彼は若くして体が不自由になってしまいましたが、そんな境遇にも負けずに強い人であったと偲ばれます。彼との思い出は、山行中の苦しい表情とは打って変わった壮行会や打ち上げでの満面の笑顔と、彼が卒業してから「お前ら学生は貧乏だから」と言ってよく飲み連れて行ってくれた際に、ワイシャツのお腹のボタンを飛ばしながらの笑顔です。話の内容は全く覚えていませんが、とにかく元気な思い出です。

体が不自由になった後も、ワングルの会合にはよく出かけて行って楽しんでいたので、先輩後輩からも愛される人物が、急に逝ってしまったのは本人もびっくりだったでしょう。ワングルTシャツを着て会報を広げたままだったと聞き、楽しかった夢のように自由に山に登り飲んで騒いでいることかと思えます。

山本規雄

振り返ると、次の2点が心に残っていて、彼の心遣いに感謝しています。個人的なことですが、書かせていただきます。①大学1年の正月に旧横溝邸でご馳走になりました。ずいぶん後になって聞いたところ、「元気がないから励まそうと呼んだ」ことでした。ありがとう。②結婚披露宴の司会進行を快く引き受けてくれ、滞りなくやり遂げてくれました。事前の打ち合わせのとき、いくつかの提案もしてくれました。お世話になりました。重ねて、ありがとう。

最後に、心よりご冥福をお祈りいたします。

岩崎泰夫

40年前の横浜駅夕方、就職で宮崎・延岡に向かう夜行列車の君を見送ったのが、昨日のこのようで懐かしい。その後旭メディカル名古屋支店勤務となり、実家に戻ることとなった私と暫くの間、仲良くさせてもらいました。

仕事は透析チューブの営業、中央線多治見から木曾福島まで管轄、病院関係者の接待で夕方から本番、一度営業に出ると2週間くらいはホテル住まい、すごい世界で生きているんだと思ったものです。悩みを聞いて貰ったり、ドライブもしましたね。山田君のお墓参りのこと覚えてますか。大歓迎を受けて、何度も休憩・仮眠をとって何とか名古屋・塩釜口のアパートに着いたのが朝の3時くらい、君が大好きだったドラゴンクエスト、はじめてやらせてもらいましたよ。得意気に語る君の笑顔が懐かしい。コロナ禍、オリンピック、行進曲に身震いました。合掌

籠橋泰憲

私は横溝君と一緒にパーティーになった時の山中の記憶がほとんどありません。私にとっての横溝君の思い出は21期の仲間が還暦を迎え老いと向き合う頃から、ワングル関係の飲み会に参加することが多くなり、彼の横と一緒に酒を飲みながら、よもやま話をした時の記憶。彼は両親を看取り独り暮らしになって身も心も淋しかったと思いますが、2度も伴侶に先立たれた私の哀しみとどこか共通の人間のかなしさを感じていたように思うのです。大学時代の仲間との邂逅(かいこう)が、横溝君の人生にとって、独りぼっちぼつねんと生きて行かねばならなくなった時まで続き、白木君や村松君をはじめとするワングルの仲間の心の支えが、横溝君をどれくらい勇気づけられたことか、と思うのです。ご冥福を祈ります。 合掌

村石(椋代) 節子



●在りし日の横溝真司君
★1977年10月L養 尾瀬



★1978年8月PW 黒姫



★1978年10月PW 巻機



★1979年3月春合宿 鈴鹿



★1978年5月新錬二次 奥秩父



★1978年10月L養 北八ヶ岳



★1979年3月PW 道志



★1979年8月夏合宿 大雪

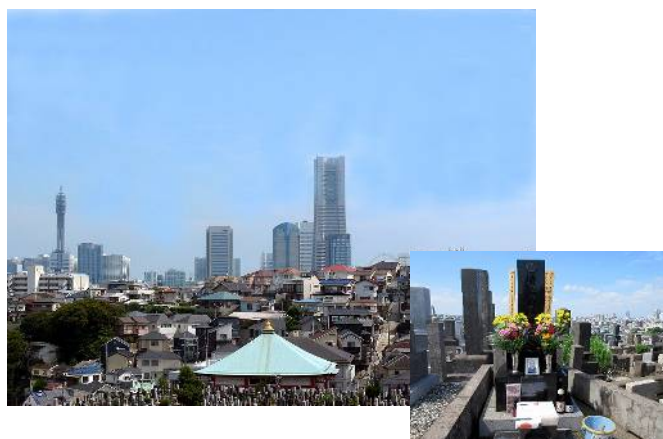


●横溝真司君の現役時代の山行記録【歴史資料館より抜粋】

年	月	日	行事	コース
1977	5	28-31	新人練成二次合宿(奥秩父)	(十文字峠-甲武信岳-雁坂峠-飛竜山)
1977	7	2-3	第2回トレーニング合宿丹沢	(戸沢出合-塔ヶ岳-ヤビツ峠)
1977	7	20-31	夏合宿南ア	(荒川三山-塩見岳-白峰三山)
1977	8	19-23	PW北ア	(黒部五郎岳-双六岳-槍ヶ岳)
1977	10	15-17	L養合宿尾瀬	(大清水-燧ヶ岳-至仏山)
1978	1	22	トレーニング合宿(雪上訓練)奥多摩	(日原-鷹の巣山ピストン)
1978	3	15	スキーツアー後発	(笹ヶ峰)
1978	3	24-26	PW両神山	(納宮-清滝-両神山-白井差口)
1978	4	2-7	春合宿丹沢	(焼山-黍殻山-神ノ川-畦ヶ丸-石割山)
1978	4	28-30	里合宿雁坂	(三峰口-雁坂峠-新地平)
1978	5	13-14	新棟一次合宿丹沢	(大倉尾根-塔ノ岳-表尾根-大倉)
1978	5	29-1	新棟二次合宿奥秩父	(金峰山-国師岳-塩山)
1978	6	16-18	PW天城	(万三郎-八丁池-与市坂)
1978	7	8-9	夏トレ	(有間小屋-仁田山-蔵山-名郷)
1978	7	19-31	夏合宿南ア	(畑薙第一ダム-茶臼岳-赤石岳-荒川岳-三伏峠-樺沢)
1978	8	12-18	PW苗場	(和田小屋-苗場山-小松原小屋-金城山-見玉)
1978	8	25-28	小屋周W(黒姫・火打)	(七曲-黒姫山-笹ヶ峰-火打岳ピストン-笹ヶ峰)
1978	10	12-15	リーダー養成合宿	(稲子湯-麦草峠-三つ岳-横岳-蓼科山親湯)
1978	10	28-30	PW巻機	(桜坂-御機峠-牛ヶ岳)
1979	1	21	冬トレ	日原-鷹ノ巣山
1979	3	5	スキーツアー先発	笹ヶ峰
1979	3	20-22	PW道志	(蜂宮跡-御正体山-三国峠-湯船山-山市場)
1979	3	28-44	春合宿鈴鹿	(宮妻峽-鎌ヶ岳-御在所山-御池岳-坂本)
1979	5	11-13	新棟一次合宿丹沢	(大倉尾根-鍋割山-寄)
1979	5	30-3	新棟二次合宿奥秩父	(梓山-十文字峠-甲武信岳-丹波)
1979	6	23-25	PW那須	(郡須岳-朝日岳-甲子温泉)
1979	7	7-8	夏トレ合宿丹沢	(天神尾根-表尾根-ヤビツ峠)
1979	7	23-1	夏合宿十勝	(十勝連峰-オプタテシケ-トムラウシ-旭苗)
1979	10	14-16	L養	(黍殻山-蛭ヶ岳-犬越路-西丹沢)
1979	10	26-29	PW尾瀬	(鳩待峠-黒岩山-鬼怒沼湿原-女夫淵温泉)
1980	3	23-25	道志PW	(上野原-菜畑山-二六夜山-道坂)
1980	4	2-7	春合宿丹沢	玄倉-塔ヶ岳-畦ヶ丸山-山中湖
1980	5	17-18	新棟1次合宿丹沢	(大倉-塔ヶ岳-鍋割山-寄)
1980	6	5-6	夏合宿準備合宿三ツ峠	(河口湖-三ツ峠山-三ツ峠)
1980	7	21-29	夏合宿南ア	(塩川-塩見-北岳-仙丈-甲斐駒(北岳から広河原へエスケープ))

※小屋関連行事、追いコン等は含まれておりません。

常盤台・みなとみらい横浜全体を見渡せる久保山墓地は、殿ご自慢の風景でしょう。 合掌



葉山・森戸川源流沢歩き

森戸川源流沢歩き、梅田君が企画してくれました。私がワングル同期のライングループで「葉山が好き」とつぶやき続けていたら、企画してくれました。梅田君有り難うございました。

2021年5月1日、今回のメンバーは28期梅田君、27期池野さん、私の3人でした。

朝、いきなりやらかしてしまいました。逗子・葉山駅8時待ち合わせに20分遅刻してしまいました。恥ずかしい。現役の頃はよく遅刻をして怒られて笑われていましたが、55歳になってまたやってしまいました。行動パターンが現役の頃と成長していません（苦笑）。すみませんでした。

梅田君の奥様に登山道入り口まで車で送っていただき（感謝！）歩き始めました。沢歩きは人生初めてで沢に足を一步踏み入れるときはわくわくしました。ひんやりして気持ちいい、そして結構滑りやすい、一步目の感想でした。（写真1） 登山道を歩くときは長年の感覚に従い半分ぼんやりしながら歩けるのですが、沢歩きは一步一步が新鮮、一步一步が自己責任、というのは結構沢は滑りやすく、転びやすいからです。選んだ一步ですぐ転ぶ、そういうスリリングな道行きです。沢底は砂利もあり、一枚岩もあり変化に富んでいて面白いです。今までの山歩きと違う新鮮な刺激が脳をめぐり、3人3



（写真1）森戸川源流



（写真2）沢は結構滑りやすい



（写真3）滑滝

様、滑ったり転んだりしながらわくわくしながら歩いて行きました。新緑の木々のなかで足下ひんやり、爽やかな5月の始まりでした。（写真2）

さて、沢と言えば堰堤があり、ちょっとした滑滝もあり、そこがまたちょっとしたチャレンジです。いきなり目の前に堰堤が現れました。そんなときは脇を巻いて行きます。それが結構な傾斜なのです。今回のルートはあまり人が通らないので巻き道もあたりなかつたりします。梅田君がトップで道を選んでくれたので私たちはついて行くだけで良かったのですが、結構道なき道を切り開いていく、まるで昔のテレビ「川口探検隊」のような気分でした。川口探検隊ならそろそろ頭の上から蛇が降ってくる

ところですが、今日は降ってきませんでした。

しばらく歩いて行くと滑滝が現れました。といってもまあ1メートルくらいのものですがこれを登るのが結構楽しいのです。(写真3)最初に梅田君が登り、次に私が登り、何を思ったか梅田君がスマホで動画を撮り始めました。映っているのは池野さん。そうしたら池野さんが見事に滝壺へドボン、その様子は梅田君の動画に納められました。池野さん腰を打って結構痛そうでした。お大事にして下さい。

そんなこんなで1時間半くらい歩いた頃、沢は段々細くなり、やがて幅50cm位の流れになりました。ここが森戸川源頭か、となんだか嬉しくなりました。私が葉山を好きになったのは、半年前にひょんなことから森戸大明神という海辺の神社を見つけたことからです。この神社は、境内から相模湾が見渡せて、空気が澄んでいれば海の上に富士山が拝める、という素敵な景色が見られます。(写真4)



(写真4) 森戸大明神からみた相模湾 富士山と江ノ島が見える

その森戸大明神の脇から相模湾に流れ込む川が森戸川です。河口でも流れがきれいで、素敵な川だなと思っていました。

(写真5) その源頭に来られた嬉しさからシャッターを切りました(写真6)。



(写真5) 森戸川河口と森戸海岸

さて、森戸川と分かれてここからは尾根に出る道です。普通の山道に戻ると、これがワングルで歩いていた道だよな、という感覚です。それだけ今日は沢歩きの新鮮な感覚を味わっていたということです。三浦アルプスは標高が200m位ですがアップダウンがかなりあり侮れません。なかなか深い山です。また出会う人も居ないので、ああ神奈川県三浦半島にこ



(写真6) 森戸川源頭

んなに自然豊かなところがあるのか、と郷土再発見をした気分です。しばらく登っていくと尾根に出ました。急に東京湾が見渡せました。横須賀の軍港、アメリカ軍の艦船、横浜金沢八景の風景などが見えてここは三浦半島の特徴が改めて感じられました。東は東京湾、人の文化が栄えている海、西は相模湾、自然豊かな海、そこの尾根に居ることの楽しさを味わいながらシャッターを切りました(写真7)。



(写真7) 尾根から見た横須賀・金沢八景

またしばらく歩いて山頂に着きました。梅田君が歩荷してきてくれたノンアルコールビールで乾杯(写真8) 嬉しい瞬間です。

池野さんと話して改めて認識したことは、山を歩いていると目の前の一步の事だけを考えている、早くレストしたい、とか、また登り・・・とか。それだけに没頭できる時間は日常生活の中ではほとんどありません。日常生活で悩みや考え事があったとしても山を歩いていると気づくと忘れていきます。そんなひとときを過ごし、また下界に戻ってきたときにちょっと感覚が変わっている、問題との距離がとれている、そんな、気持ちへの作用が山歩きにはあるなあと再認識した次第です。



(写真8) ノンアルで乾杯

さて、下山路へ。歩き始めた途端に雲行きが怪しくなりました。と思ったら雨が降り始め、程なく土砂降りとなりました。もともと三浦アルプスのルートは迷いやすく、さらに雨でルートが分かりにくくなりましたので林道にエスケープしました。私は思わずこのときにワングル現役の時にいった鈴鹿山脈の春合宿を思い出しました。あの時も豪雨で道が分からなくなり、山中で2泊ビバークしました。その時の感覚を身体が覚えているのですよね。ああ、あの時もこんな感じだったなあと。昔と今が山の体験を通してつながりました。人間って豊かで楽しいですね。そしてそれを包み込んでくれる自然の豊かさに改めて感じ入りました。

そんなこんなで楽しくスリリングで中身の濃い山行でした。企画してくれた梅田君、一緒に行ってくれた池野さん、そして行き帰り車で送って下さった梅田君の奥さん、娘さん、どうもありがとうございました。ますます三浦・葉山が大好きになりました。

OB会報バックナンバー放出のお知らせ

編集委員長 石垣秀敏

会員の皆様にお送りしているOB会報は落丁・乱丁に対応する予備として、第49号から最新号まで多少の部数を保管してきました。しかし、在庫場所は限界がありますし、電子版(PDF版)は全てホームページ上で公開しておりますので、この度予備は処分することにしました。OB会員の皆様の中でバックナンバーをご希望の方は編集委員会(メールアドレス: kaiho-ywvob@ywvob.com)までご連絡していただければ、12月発送予定のOB会報第79号を発送する際に同封いたします。尚、予備の部数には限りがあるため、ご希望にお応えできない場合があることを予めご了承ください。



■ 現役部員の活動紹介

主将 中山竜熙 (63期)

お世話になっております。63期主将の中山竜熙です。4月の新歓から7月までの現役報告をさせていただきます。

0. 新歓

今年は原則オンラインとのお達しがあったので、公式Twitterをメインに部員を集めた。4月13日と22日はZoomを用いて説明会を開催した。

対面では、3日間だけメインストリートの指定区画でのビラ配りが許可されたので、4月16、19、20日にビラ配りを行った。新歓山行は以下の2回を実施した。新歓の特典として温泉代を奢った。当初は小屋新歓も検討したが、「まん防」の発出により断念した。

① 大山 (4月17日 現役8名、新入生7名)

雨予報で新入生8名が参加を事前に辞退。案の定天気は悪く、新入生のうち3名が阿夫利神社で撤退。少し無理があったと反省。

② 陣馬山 (4月25日 現役9名、新入生28名)

まん防で直前に行先を裏高尾から変更。中央線沿線の駅近山行として実施。今回は天気も良く新歓らしいハイキング日和だった。

1. 新人錬成登山Ⅰ 丹沢山 (第一次:5月4日 21名、第二次:5月9日 16名)

実質上の確定新歓。GWの小屋新歓が流れて日程に空きが出来たので2度に分けて実施。長距離歩荷の練習。山頂で自己紹介の会を設けるなどした。



2. 新人錬成登山Ⅱ 檜洞丸

(5月22日 26名)

まん防の関係で神奈川縛りを継続。主に読図練習を行った。



3. 新人錬成山行Ⅲ 乾徳山 （第一次：6月12日 19名、第二次：6月20日 9名）

初の県外&岩場。梅雨時ながら天気恵まれ、岩場に親しんだ。



4. 歩荷山行 箱根・明神ヶ岳 （第一次：7月11日 6名、第二次：7月17日 18名）

3日に行う予定だったが大雨のため2日に分けて実施。湯本からの長丁場を皆で歩き抜いた。



5. 谷川岳山行 西黒尾根 （7月23日 24名）

五輪の開会式に伴う連休を利用して遠出。八ヶ岳での分散合宿案は許可が出ずこちらに差し替え。それでも天気と景色に恵まれ、今学期の山行の集大成にふさわしかった。



6. 今後につきまして

夏休み期間中に、北岳・間ノ岳縦走や小屋を拠点として妙高・火打山などを検討していますが、コロナの影響で合宿の実施自体不透明な段階です。それでも、僕たちなりに最善を尽くして良い夏を過ごしたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

現役一同

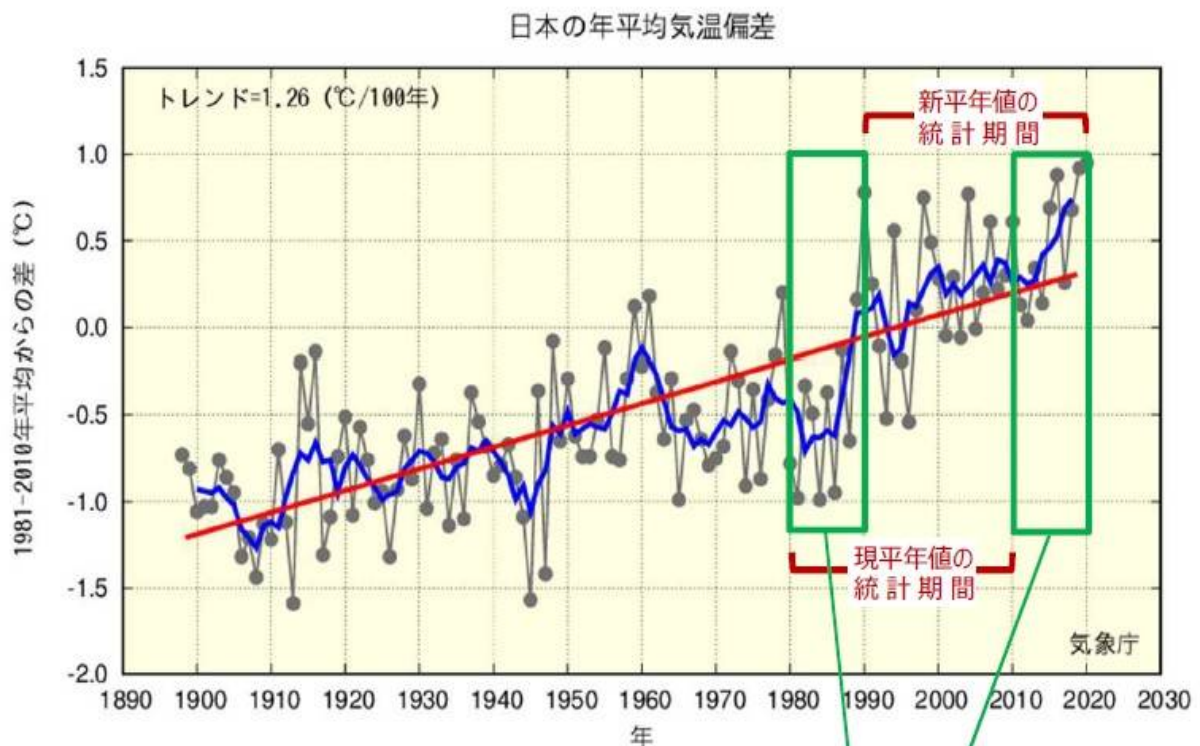
平年値

1年延期され異例づくめだったコロナ禍の東京2020オリンピックが閉会となり、忙しかった(?)テレビ観戦から静かな日常に戻り、この観天望記を書いています。突然ですが、今年2021年5月19日は何の日だったでしょうか。

「逃げ恥カップル」の星野源さんと新垣結衣さんが結婚発表をした日！ それも正解ですが、このYWOB会報にふさわしい正解は、「新しい平年値の使用を開始した日」です。平年値はご存じのように気象や天候を評価する基準として利用され、「平年に比べ暑い夏」などのように使われますよね。オリンピックは4年に1度ですが、平均値は30年間の平均であり、更新は10年に1度です。西暦年の1の年から続く30年間の平均値ですので、今年が更新の年です。今年5月18日までは1981年～2010年の観測値の平均が平年値として使用されていましたが、1991年～2020年の新しい平年値が作成され、5月19日から使用が開始されました。

旧平年値(1981年～2010年)と比較した新平年値の特徴を気象庁の発表から抜粋してみました。やはり、地球温暖化の影響が出ているようです。詳しくは同庁のホームページをご覧ください。

- ・年平均気温は全国的に0.1～0.5℃高く、1980年代後半から急速に上昇しており、温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化による長期的な昇温傾向や数十年周期の自然変動の影響だそうです。また、都市化も影響しているそうです。やはり段々暑くなっていますね。下の図の赤い線がまさに右肩上がりを表しています。
- ・降水量は夏の西日本や秋と冬の太平洋側の多くの地点で10%程度多くなっています。降雪量は冬の気温上昇の影響などにより少なくなったそうです。苗名小屋便りを見ていると積雪は昔より少なくなってきたように思えます。
- ・さくらの開花はほとんどの地域で1～2日早いそうです。東京の桜は3月が当たり前になったのでしょうか。
- ・台風の発生率・日本への接近数・上陸数、梅雨入り・梅雨明けの時期などは大きな変化はないそうです。でも台風の激しさは年々増しているように思えますから、備えをしっかりとしなければと思いました。



この差が平均値の差となって現れた



1981年7月夏合宿南アルプス、小赤石岳から富士遠景。当時合宿は全員同ルート踏破が基本。総勢50名あまりが、この景色と感動を共有しました。 撮影 吉田豊氏(23)

YWV 歴史資料館より

皆様からの投稿をお待ちしています。自由投稿の原稿、写真、スケッチ等を編集委員会にお送り下さい。メールアドレス kaiho-ywvob@ywvob.com

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

YWVOB 会 会報第 78 号

発行 行： 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会
発行 日： 2021年9月4日
発行 責任者： 会 長 西田 雅典(20)
編集 責任者： 編集委員長 石垣 秀敏(20)
編 集： 編集委員 武藤 功二(20)
編 集 委 員 楠本 なぎさ(28)
顧 問 吉野大次郎(2)
印刷 所： 株式会社プリントパック 京都府向日市森本町野田 3-1